

令和6年12月3日

阪南市の子育て施策に関する課題把握と充実のための サウンディング型調査の結果について

阪南市は、「子どもの笑顔と笑い声があふれるまち、はんなん」を基本理念として、子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育て支援施策を総合的に推進しています。

現在、第3期の子ども・子育て支援事業計画の策定に着手しており、国のこども未来戦略等も踏まえつつ、令和6年度中の計画策定をめざしています。

そこで、子育てに関する取組を実施または支援する団体等から、広く情報を収集し、本市の子育てに関する現状と課題を詳細に把握することにより、今後の子育て施策の推進を図るため、サウンディング型調査を実施しました。

1 スケジュール

実施要領の公表	令和6年9月17日（火）
参加申込（エントリー）の受付	令和6年9月17日（火）～10月2日（水）
実施日時及び場所の連絡	令和6年10月4日（金）
サウンディング（対話）の実施	令和6年10月9日（水）～23日（水）

2 サウンディング実施数

計10団体とサウンディング（対話）を実施。

3 サウンディング実施結果（順不同）

子育て環境やサービスに関する現状と課題について
<ul style="list-style-type: none">・核家族化、SNSの情報など、育てにくい社会になっている。・阪南市には産科が少なく、産む場所が少ない。・子育て支援事業について、保護者の選択肢が少ない。・海洋教育などの体験学習はこどもたちにとって良いこと。

子育て施策に対する意見、提案、アイデア、手法について

- ・ 包括的な性教育により生きる力、出産への興味を育むことで、出生率が向上する。
- ・ 産科が少ないのであれば、産後ケアに力を入れてはどうか。
- ・ こども自身の気持ちを先生や大人に伝えやすく、引出しやすい環境や手段（ツール）を整えて欲しい。
- ・ 「しんどい」気持ちのこどもが過ごせるような居場所を作って欲しい。
- ・ 居場所を通じて地域の保護者同士の顔が見える「つながり」があれば、大きなトラブルや悩みになる前に収まりやすい。
- ・ 様々な事業、居場所について、情報発信をすることで利用するきっかけを作って欲しい。
- ・ 子育て世帯のための家庭サポート事業があるといい。
- ・ 学びの機会を保証してほしい。
- ・ 多様性、インクルージョンなどといったソフト面の PR をしてはどうか。

公民連携や民間団体等による事業実施の可能性について

- ・ 保護者のアンケートによると「家から近いところ」を希望されている。公立・私立という区別ではなく、このエリアは私立に任せるという考え方をしてはどうか。
- ・ 市の予算は限られている。補助金を活用できる私立で建設した方が有利である。
- ・ 保育所型の認定こども園も選択肢の一つと思う。
- ・ 認定こども園を中心とした複合施設を設置したい。
- ・ 保育士等の利便性の向上は保育士確保につながると考えられることから、保育施設で利用可能なツール（サブスク等）を提案したい。

公立施設の運営、改築、再配置等について

- ・ 特別な支援が必要なこどもを受け入れる体制を維持する必要がある。
- ・ 公立の基幹園を残し、他の公立園所を民営化するという考え方もある。
- ・ 子育て拠点の再構築は、統合する施設の距離、統合後の立地なども考慮する必要がある。

<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢として公立幼稚園を残すことは大事である。選択肢が多いと阪南市への移住にもつながる。 ・集団生活を考える上では、1 集団あたりの児童数がある程度必要になる。
<p>特別保育等（一時預かり、病児保育、延長保育、休日保育、居場所等）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）を含めた子育て関連事業を実施したい。 ・公立幼稚園は預かり保育の時間をもう少し長くし、長期休暇中も実施してはどうか。また、給食を導入してはどうか。 ・居場所には多様な選択肢がある方が望ましい。
<p>その他、阪南市の子育て施策に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育ニーズの高いところに保育士が多いとは限らず、それが保育士不足の原因の一つ。 ・保育施設はみんなが育つ場所。こどもはもちろん、先生にとっても子育てしながら勤められる環境であることが望ましい。 ・阪南市は居心地がよく、子育てしやすい環境である。もっと阪南の良さが伝わると良い。 ・阪南市には適度に自然（田・畑・山・海）があって、こどもがのびのび育つ環境であり、こどもだけで遊びに行けるいい街である。

4 サウンディング結果を踏まえた今後について

今回のサウンディングでは、子育てに関する取組を実施または支援する団体等よりご意見・ご提案やその他アイデアをお示しいただきました。

今後、本調査の結果を踏まえ、第3期の子ども・子育て支援事業計画の策定を進めるとともに、子育て施策の推進を図ってまいります。